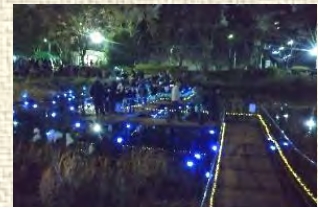




# みらいづくり大学 青葉キャンパス

## 「あおば魅力づくり講座」

### 報告書



### 《 目 次 》

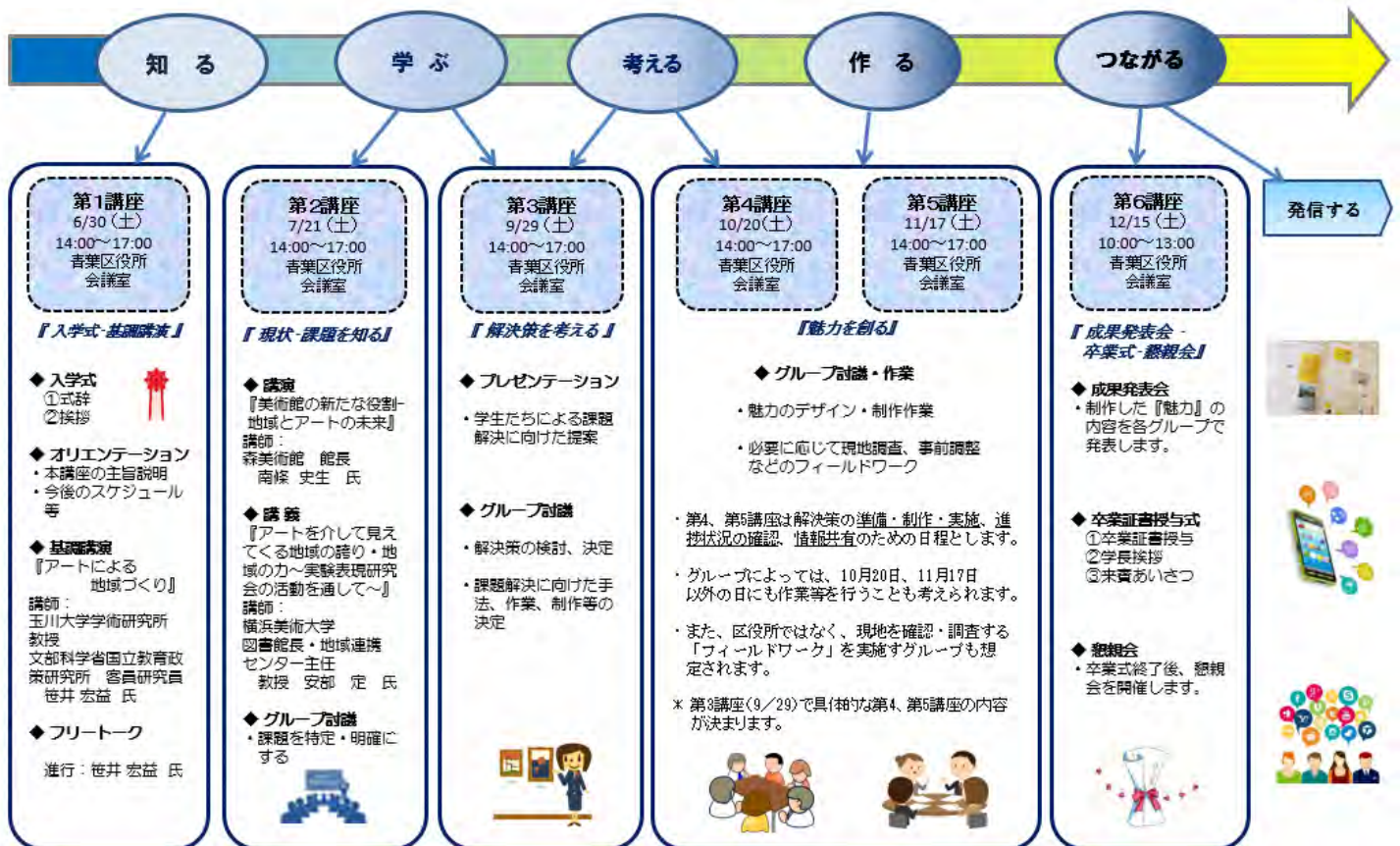
2	概要、カリキュラム	7	第6講座 成果発表会、卒業式
3	第1講座 入学式、基調講演	8	卒業制作
4	第2講座 講演、講義、グループ討議	9	卒業制作
5	第3講座 プレゼン、グループ討議	10	卒業制作
6	第4・5講座 グループ討議、作業	11	掲載記事紹介

みらいづくり大学青葉キャンパスは、「学びと成長の場」です。地域活動を活性化し、地域における課題解決を推進する担い手の育成を目指し、地域の皆さんが、横浜美術大学に学ぶ学生たちと一緒に、地域の課題をアートの力で魅力に変えることを考え、実践する内容で30年度はあおば魅力づくり講座を開講しました。



自ら住む青葉区の課題・問題点を『知り』  
その課題を解消し魅力に変える方法を『考え』  
その作業・成果を通して『つながり』  
新たな魅力が創出される『魅力づくり』を目指します。

## あおば魅力づくり講座カリキュラム



### 学長：関根 宏一 氏

○青葉区連合自治会会長  
○青葉区奈良在住  
「孫の代まで誇れるようなまちづくりをしていきたい」と、50代から自治会会長を務め、奈良町連合自治会の会長としても既に10年を超えました。青葉区の魅力を全国に発信していくために、日々、様々な地域を支える活動に取り組んでいます。



### アドバイザー：笹井 宏益 氏

○玉川大学 学術研究所 高等教育開発センター 教授  
文部科学省 国立教育政策研究所 総括客員研究員 ○東京都在住  
地域づくりのための社会教育を中心に、幅広く生涯学習の研究をしています。特に近年は、ボランティアやNPO、若者や高齢者の社会参加に焦点を当て、市内各地をめぐって調査研究活動に取り組んでいます。



### コーディネーター：竹本 靖代 氏

○あおば学校支援ネットワーク代表 ○青葉区奈良在住  
ボランティアと学校をつなぐコーディネーターのネットワークとして子どもの視点に立ったよりよい学校教育への支援活動をしています。また、子どもが主体の世代間交流事業にも取り組んでいます。



# 第1講座 入学式・基調講演

6月30日（土）14:00～17:00 青葉区役所4階会議室



みらいづくり大学青葉キャンパスの入学式を行いました。学長は青葉区連合自治会長会の関根宏一会長、副学長は小出重佳青葉区長です。入学式の挨拶では参加する区民の皆さんへの期待をそれぞれ熱く語っていただきました。

これまでの3年間は、青葉区の魅力を発見・発信する講座を開講してまいりました。4年目となる今年度は「あおば魅力づくり講座」と題して、自分たちで魅力をつくることに挑戦します。ゴールとなる半年後の成果を楽しみに講座を開講しました。

## 基調講演「アートによる地域づくり」 フリートーク

講師 玉川大学 学術研究所 高等教育開発センター 教授  
文部科学省 国立教育政策研究所 客員研究員

笹井 宏益 氏

アドバイザーとして初年度の講座からお力添えをいただいている玉川大学の笹井宏益教授による基調講演です。アートで有名な直島や藤野の他、横浜の作品も例に挙げてお話をいただきました。

講演から、私たちが生活している空間と時間、生活で使っているアイテムが、楽しく・面白く・カッコよく・かわくなることは、自らの人生を豊かにするということ、私たちが、楽しい・面白い・カッコいい・かわいと感じることが他の人と共有できると潤いのあるコミュニティがつくれるということ学びました。そして、生活の芸術化の方法には生活アイテムのアート化と生活空間・生活時間のアート化の2つがあり、今回の講座では後者の生活空間や時間のアート化に挑戦しましょうと、講座の方向性についても示唆していただきました。

その後、休憩をはさんで行ったフリートークでは、グループに分かれて、これまでの生活経験（日常生活、通勤通学、散歩、旅行等）において、感動したり、美しいと思ったり、印象に残っているアートにはどのようなものがあるかを、生活上のアイテムと地域にある独立したアート作品に分けて考えました。



日頃、芸術や美術とはあまり縁が無いと感じていても、グループで話し合い、お互いに意見をかわしているうちに、身近なところにあるアートを発見したり感じたりすることができました。



## 第2講座 講演・講義・グループ討議

7月21日(土) 14:00~17:00 青葉区役所4階会議室

講演 「美術館の新たな役割ー地域とアートの未来」  
講師 森美術館 館長 南條 史生 氏



2006年から森美術館の館長を務められながら、国際的な展覧会、審査員、アートコンサルタント、行政の有識者会議など多方面でご活躍されている南條史生氏による講演をお聞きしました。「理想はアートが消滅し、生活がアートと一体化すること」というお話には新たな視点を得られた受講生が多かったようです。

### 受講生感想 (アンケート抜粋)

- ◇町ぐるみでのアートの取組の例、思いもつかないことが多く、固定観念にとらわれていたことを実感した。
- ◇茨城で開催した「海か、山か、芸術か？」のスケールと作品内容を始めて知って感動した。解説も分かりやすく興味深かった。六本木アートトライアングルは、街そのものをアートとした革命的な活動だと思う。もはやアートは絵画や美術館にあるものではなく、地域や生活がアートになる。
- ◇色々のアート作品の説明を受け、その中に色々に意味がある。面白いと思った。
- ◇面白かったです。最後に美学とのお話がありましたが私も同感です。格好良い、面白い、ビックリする、日常性の打破が大事だと思います。
- ◇地域を取り込んだアートプロジェクトの例を見せていただき、発想の幅が広がったように感じます。かつては絵画や彫刻が主流だったアートも、社会と共に姿を変えていっているということを実感致しました。芸術祭という方法は、地域を巻き込むアートプロジェクトを考える上で、参考にできると考えました。田んぼなど普通ならアートの場とは考え難い場所も活用しているのを見て、アートと地域の調和において可能性は無限に広がっていると感じます。社会にとってのアートや美学というものは、実は切りはなせないものであると理解される時が来てほしいと私は考えます。

講演 「アートを介して見えてくる地域の誇り・地域の力  
～実験表現研究会の活動を通して～」  
講師 横浜美術大学 教授 安部 定 氏

これまで発表されてきた作品の制作方法や効果、地域の人の変化など経験談を伺いました。受講生は自分達には何ができるか考えながら講演を聞き、引き続き行ったグループ討議でもアドバイスを受けました。



### グループ討議

横浜美術大学の学生さんも加わって、地域の課題や課題解決のアイデアについて話し合い、コミュニケーションの不足の他、様々な課題が出ました。



# 第3講座 プレゼンテーション・グループ討議

9月29日（土）14:00～17:00 青葉区役所4階会議室

## プレゼンテーション

前回のグループ討議で出された地域課題や解決のアイデアをもとに、夏休み中に横浜美術大学の学生さんが「地域の課題を魅力に変える」プランをいくつも考えてくれました。その発表の前に受講生による振り返りで、夏休み前の第2講座で出された地域課題に関する意見を思い起こしました。



プレゼンでは代表して発表した6名の学生と安部教授から多様なプランが提案されました。「美術の知識を必要としないアートの対話性をテーマにまちづくりを考えた」「アートはつながりをつくるコミュニケーションの場となりうる」等々、熟慮を重ねた一つ一つのプランに対する学生の考えも聞くことができました。講座内での取組みとしてすべてを実現することはできないのが残念です。

### 提案内容

- ◇ホットとする場所、昔話語り部の部屋、手作り販売コーナー、鍋料理、読み聞かせ
- ◇廃車車体を使った創作生け花
- ◇アートフェア（作品展示及び販売）
- ◇挨拶するエリア
- ◇クリスマスイルミネーションを活用した参加型アート
- ◇Wish Tree
- ◇光る池
- ◇ランドスケープ型アート「燦めきの青葉」
- ◇キャンドル・アート
- ◇寺家地区在住アーティストによる展示
- ◇トレジャー・ハント



## グループ討議

雨天時の対応はどうかなど、各提案に対してさらに詳細を確認して実現の可能性をはかったり、どの課題を魅力に変えていくか、課題とのマッチングを考えました。



# 第4講座 グループ討議・作業

10月20日(土) 14:00~17:00 青葉区役所4階会議室

## グループ討議・作業

5つのグループが6つの提案の実現に向けて活動することになり、提案者の学生もまじえて企画を進めました。実施までのスケジュールや会場選定、関係先への打診、制作方法の検討など第4講座と第5講座の2回で決めることができます。



### ◆『光る池』『Wish Tree』グループ

人のつながりの希薄化を

地域の人々が集まるイベント開催で魅力に変える

### ◆『車体を使った花壇』グループ

地域のコミュニケーション不足・交流不足・環境美化を

車に花を飾り、それを見に来る人々の交流をはかることで魅力に変える

### ◆『あいさつエリア』グループ

地域のコミュニケーション不足・交流不足を

世代をこえてあいさつを交わし交流することで魅力に変える

### ◆『防犯グッズ』グループ

地域の防犯意識の向上・推進を

使いたい・使いやすい防犯グッズを配布することで魅力に変える

### ◆『田んぼdeアート』グループ

青葉区の魅力をアピールする必要性を

こどもの国線から見える田んぼを明るく楽しいアートで魅力に変える



# 第5講座 グループ討議・作業

11月17日(土) 14:00~17:00 青葉区役所4階会議室

## グループ討議・作業

試作品の制作、現地の視察、予算の組み直しなど、どのグループも大詰めの状況に、身を乗り出す勢いで討議や作業を進めています。



# 第6講座 成果発表会・卒業式

12月15日(土) 10:00~13:00 青葉区役所4階会議室

## 成果発表会

制作した作品の区民への発表を翌日に控えるグループや、翌週まで展示が続くグループもありますが、講座の締めくくりとして、成果発表を行いました。報告書を作成したり使用した道具を持参して行った発表には主体的に活動した様子がうかがえました。

(各取り組みについては8ページ以降に掲載)



## 卒業証書授与式

半年間の講座で素晴らしい成果を上げて、卒業証書授与式の時を迎えました。積極的な参加を裏付けるかのように、例年以上の13名もの方々が皆勤賞を受賞されました。皆様お疲れさまでした。修了後の懇親会では楽しく談笑する輪があちらこちらにできました。



## 講評

あおば魅力づくり講座アドバイザー 玉川大学 学術研究所 高等教育開発センター 教授  
文部科学省 国立教育政策研究所 客員研究員 笹井 宏益

平成27年度から始まった「みらいづくり大学青葉キャンパス」は、今年度で4回目を迎えた。今回は「あおば魅力づくり講座」と題して、地域においてアートを「創出すること」に焦点を当てた講座となった。これは、地域に存在する既存のリソースを見出しリファインし活用するといった、従来からの「地域づくり講座」のスタイルとは大きく異なり、市民が中心となって地域の風景の中に「美しさ」や「楽しさ」「面白さ」をゼロから創り出すといった、これまでに例がない、極めてチャレンジングな試みと言えよう。

もちろん、ここに至るまでには、横浜美術大学や美術関係者、区役所をはじめとする行政機関、関係団体などの多大なる協力があつたことは確かである。しかしながら、地域に新たな価値を創出するという目標は、斬新なアイデア、美意識の共有、厚い信頼関係、豊かな表現力といったものを、一人ひとりの受講者が、学びながら身につけていかなければ、実現することは難しい。

その成果はこの報告書にまとめられている。これを読めば、地域に「新たに魅力をつくること」の素晴らしさがわかっていただけたと思う。受講者の皆さんをはじめこうした活動に関わってくれたすべての方々に対して、心からの敬意と感謝を表するとともに、ここでの経験をさらなる「魅力づくり」に活かしていただければと願っている。



# 【卒業制作】

## 光る池・Wish Tree

『光る池』と『Wish Tree』の2つのプランを合わせて取り組みました。開催場所の相談で土木事務所へ行ったり、町内会、公園愛護会など地域で多方面の協力を得て進めました。来場者を募るために地域の郵便局、学校や保育園などへのチラシ配布やミニコミ誌への告知記事掲載など広報にも力を入れた結果、当日は1,500名の方で会場がにぎわいました。来場された方から「屋台も出るとさらに楽しい」という感想もありましたが、寒い冬の夜の単独開催にもかかわらず、大変多くの方に来ていただけたことはうれしい驚きでもありました。



寒空の下での設営！



来場者が多く、短冊（お願いカード）や受付を急遽追加しました



暗くなると幻想的な風景に



来場者が願い事を書いた短冊（お願いカード）で飾られた Wish Tree  
短冊（お願いカード）は池の棧橋にもたくさんつけられました

来場者の方々から寄せられた感想（一部）

- ◆瀬戸内海の直島の現代アートで似たようなことをやっていましたが、有名アーティストではなく普通の人たちがやっているというのがすごいですね。
- ◆帰りのバス停でも参加された老若男女と知らない人なのに会話が弾み、ステキなステキな時間を過ごさせて頂きました。
- ◆高齢者と子供以外の方がたくさん集まるイベントを企画するのってすごく大変だと思う。すごい！
- ◆行きにもえぎ野公園の話をしていたら、前の席でもえぎ野公園の話をする親子から飴を頂き、なんだか一体感。地域でつながろうと言ったって乗っかるのは既につながっている人。こういう何気ない、ゆるやかな積み重ねが1番大事！と、強く感じた夕べ。

### 『光る池』・『Wish Tree』実施報告

- ・開催場所： もえぎ野公園
- ・開催日時： 12月8日（土）15：00 ～ 20：00
- ・担当者： 松尾、吉田、栃本、岩満、池田、名倉

地域課題『地域のつながりの希薄化』を『光る池・WishTree』で魅力に変える。

- ・来場者数：約1500人（お願いカード 840枚）

### 成果発表会のスライド



成果発表



# 【卒業制作】

## 車体を使った花壇

桜台公園で毎年行われている焼き芋会の会場の一角をお借りして行うことにし、実行委員会の会議に説明に向くなど、地域と連携して行いました。卒業式翌日の実施だったため、卒業式後にもうひと頑張り花壇設営の打合せや材料準備をし、当日は朝早くから設営にあたりました。

□目的□  
アートな花壇を作ることで  
コミュニケーション不足を解消する

● 実施日：2018年12月16日(日)  
実施場所：桜台公園

15日 卒業式後 事前準備

↓

16日当日 7時半 設置  
9時～ 展示  
12時頃 撤収

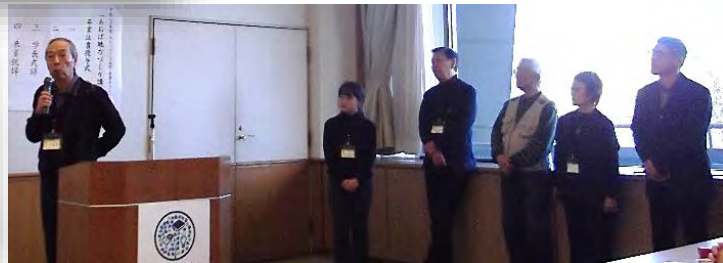


主催：あいっつ／青葉区 青葉区民センター、青葉区民センターグループ協議会  
協力：株式会社 橋本、青葉台連合自治会



花壇制作中 座席からも枝が

成果発表会のスライド



成果発表

## あいさつエリア

『あいさつエリア』は『車体を使った花壇』と並んで実施しました。なしかちゃんにあいさつするともらえる缶バッジは多くの来場者を期待して何百個も事前に手作りしました。あいさつの言葉が入った様々なデザインのバッジは子どもたちに人気で、大人からはよい取組みだと賛同の声も聞こえました。



### 概要

場所…桜台公園  
日時…12月16日  
内容…あいさつをしなければならぬエリアをつくる。その中にいる青葉区マスコット「なしかちゃん」にあいさつをしたらバッジ等報酬がもらえる。

### 注目した地域課題

- ・住民同士のつながりが薄い。
- ・挨拶する習慣がない。

成果発表会のスライド

### あいさつエリアを実施することで

- ・あいさつするきっかけが生まれる。
- ・これだけでは持続的な結果は生まれないが、初めの一歩としてモデルケースをつくることできる。



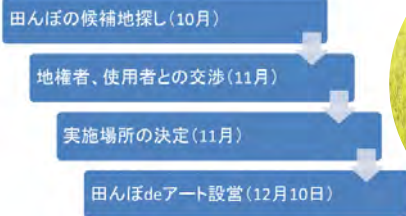
成果発表

# 【卒業制作】

## 田んぼ de アート

『田んぼ de アートは』10 日間にわたって田んぼを使ったアート作品を展示するスケールの大きな取組みで、用地が決まるまでには時間を要しましたが協力者に巡り会うことができました。電車の車窓からも見える田んぼに広がった防鳥テープがきらめく風景は多くの方の目を引きました。

### 企画の流れ



### 当日設営の様子



皆様もぜひご覧ください！！



場所:こどもの国沿線(長津田駅から恩田駅の間)  
期間:12月10日~20日

### 成果発表会のスライド(3枚)



成果発表

## 防犯グッズ作成

『防犯グッズ』作成グループは川柳や標語を入れたシールを作って、防犯啓発活動を行いました。シールを貼った個包装のマスクなどは、桜台公園で『あいさつエリア』グループとともに配布した他、防犯啓発時に活用し、広く区民に働きかけることができました。



### 防犯グッズ作成チームの取り組み

地域のための防犯啓発オリジナルグッズ制作  
独自デザインを作成し使い捨てマスクに貼り付け  
+缶バッジの作成 地域イベント内で配布  
警察署に訪問 “防犯川柳”をグループで考案  
なしかちゃんを使用した親しみやすいデザインを制作

12月16日(日) 9:00~12:00  
桜台公園 焼き芋会内で配布



成果発表会のスライド



学生も一緒に配布しました



成果発表

# タウン誌に掲載されました

今年度の講座テーマである、「地域の課題をアートの力で魅力に変える」という挑戦に受講生一人一人が取り組んだ結果、大きな成果を上げることができました。その様子は終了後にも多くの方へ向けて情報が発信されています。



(ひろたりあん通信 1月号)

## TOPICS

### 一夜限りのミニ・ルミナリエ もえぎ野公園の池で幻想的な世界を

横浜美術大学の学生と地元住民が協力し、もえぎ野公園の池を約100個のライトで幻想的に照らすイベントを開催します。また池の周りの木や桟橋に「お願いカード」をつるし、夢や願いを未来に託します。カードは公認受付で配布。気軽に参加してみてください。※駐車・駐車場なし。公共の交通機関の利用を日時：12/8(土) 15:00～20:00(小雨決行)会場：もえぎ野公園(藤が丘駅徒歩9分)問い合わせ：電話=045-978-2286(青葉区役所みらいづくり大学事務局)



あいさつエリア



車体を使った花壇



防犯グズが  
交流しやす  
いよう  
に工夫も  
してました。

(リビング田園都市 12月8日号)

## 桜台で焼き芋会 アートでつながり作りも

青葉台連合自治会(山川英子会長)が主催する焼き芋会が桜台公園で12月に行われた「写真展」の一環として開催された。今年度は16回目を迎えたイベント。500本の焼き芋が用意され、集まった子どもたちは美味しそうに頬張っていた。

(タウンニュース 1月10日号)

## 区長からのメッセージ (みらいづくり大学)

みらいづくり大学 青葉キャンパス～地域の課題を魅力に変える～

皆さんは、こどもの国線沿いの田んぼに防鳥テープを張り巡らし、きらきら光る一帯があったことにお気づきでしたか？今月11日～20日の10日間にわたり披露された『田んぼdeアート』です。

これは、各地区の連合自治会・町内会から推薦いただいた方々の参加で開講している「みらいづくり大学 青葉キャンパス」の取組の一つです。平成27年度からスタートした「みらいづくり大学 青葉キャンパス」は、地域の活性化や地域の課題解決を目指して、年度ごとのカリキュラムで地域活動や課題解決のヒント・コツなどを学び合い、他地区の方々となつたがりやを育てていた場となっています。

今年度は「地域の課題を魅力に変える」をテーマに、受講生である地域の皆さんと横浜美術大学の学生さんが一緒に活動されました。近所付き合いが少ない、若者が地域に冷たいのでは？等の声があり、そうした課題に対し、アートの力で、私たちが住むこのまちをもっと「つながり」のある魅力的なまちにしようと、5つの企画が立てられ、今月、成果発表が区内各所で行われました。

8日には、もえぎ野公園で、池の中に100以上のライトが灯る『光る池』と、願い事を木や池の桟橋につるす『Wish Tree』に1500人を超える人々が集まり、たくさんのお見舞いがあり、つながりのきっかけが生まれました。

16日に桜台公園で行われた「焼き芋会(青葉台連合自治会等主催)」の会場には、「車体を使った花壇」、なしかちゃんと挨拶をする『あいさつエリア』が設けられました。会場にいらした皆さんの温かい笑顔にふれあひの輪が広がっていくことを感じて、とてもうれしく思いました。また、オリジナルデザインの『防犯グズ』の配布も行われ、青葉区の課題である振り込め詐欺被害防止の呼びかけもしていただきました。

学生さんたちの柔軟なアイデアと受講生の皆さんの熱意により実現されたこれらの取組に、区民の皆さんのつながりによる信頼感、安心感こそが、より豊かな気持ちを育み、住みやすいまちを実現していくことを改めて実感いたしました。

横浜美術大学の皆さん、受講生の皆さん、そして各会場に参加された皆さん、本当にありがとうございました。

平成30年12月 青葉区長 小出 重佳

(紙面の都合上、一部抜粋しています)

## 「光る池」に願いを



もえぎ野公園に15日8日、夜限りの「光る池」が開催された。活性化や課題解決の担い手が育成を目標として、5年度から始まった「つながり作り」の一環として、青葉区とあつたがりや学校が連携し、ネットワーキングをとおして、地域の課題をアートで変えることを目指している。今年度は、横浜美術大学の協力ののもと、地区の課題をアートで変えることをテーマに、区内各所で5つの企画が行われた。

「つながり作り」生協会にたのびを込めて、木製の橋に飾りつけた「Wish Tree」の2本の木を、池田卓人さんと各家庭に配布し、子どもたちに未来への願いを託す。また、焼き芋会では、住民4人が加わって入る。

このチームで行われた、池田さんと各家庭には、昔ながらの光る池に、願いを託す。また、焼き芋会では、子どもたちが未来への願いを託す。また、焼き芋会では、住民4人が加わって入る。

(タウンニュース 12月20日号)

## 魅力を高める施策を継続

青葉区

### 小出区長インタビュー



新しい年を迎えて意気を示す小出区長

男性長寿が日本一。一昨年の振り返り。人口減少にどう対処するか。25周年をどう祝うか。市民の健康への思い。社会参加の重要性。25周年をどう祝うか。市民の健康への思い。社会参加の重要性。25周年をどう祝うか。市民の健康への思い。社会参加の重要性。

トモシニア△△(田中)「こころの健康を維持したい。参加したい。」  
「25周年を祝うことは、市民の健康への思い。社会参加の重要性。25周年をどう祝うか。市民の健康への思い。社会参加の重要性。」

(タウンニュース 1月17日号)

(青葉区ホームページ 区長からのメッセージ (12月分) より 写真は一部抜粋)



田んぼdeアート



軽トラックの花壇に



横浜美術大学の学生さんと受講生の皆さんによるオリジナルデザイン...防犯グズ

